

島民運動が開催されました

11月26日に「平成28年度第2回小豆島の地域医療を守り育てる島民運動」が開催され、多くの島民の皆さまがお集まりくださいました。今回は「小豆島の救急医療について学ぼう」をテーマに、石井医師が講演を行いました。石井医師は当院のDMAT隊長であり、救急医療や災害医療に関して多くの知識と経験を持ち、県内外問わず、幅広く活躍しています。

講演では、外科の緊急手術が可能になったことや救急の受け入れが一歩進んだことなど、新病院ができてから良くなった点や、災害拠点病院としての機能向上や開業医の先生、福祉施設、公共機関との連携強化など、改善すべき点の説明がありました。

また、救急患者の割合、島外への搬送件数などの現状説明と小豆島中央病院でできる手術できない手術の話をしました。



DMATとは？

Disaster Medical Assistance Teamの略で、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、災害急性期（発生後、おおむね48時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的なトレーニングを受けた医療チームのことです。



糖尿病教室のご案内

膵臓（すいぞう）は、糖尿病と深いかわりがある臓器です。

その働きや病気・検査を知ることによって、今後の予防につなげていきませんか。

日時：平成29年1月18日（水）

午後1時30分～2時30分

場所：小豆島中央病院 1階ふれあい広場

テーマ：膵臓について～病気と検査の特徴～

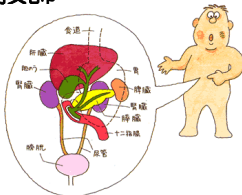
講師：久保文芳医師

山下知美臨床検査技師

川田憲伸診療放射線技師

参加費：無料

問い合わせ先：内科



マタニティクラスのご案内 (予約制)

1コース（妊娠25週くらいまでの妊婦さん対象）

内容：妊娠の生理、妊婦健診について、妊娠初期の注意
妊娠中の栄養、妊娠中の歯の健康、母子手帳

担当者：産婦人科医師、助産師、管理栄養士

実施予定日：平成29年1月12日（木）、2月9日（木）

2コース（妊娠25週以降の妊婦さん対象）

内容：分娩の経過と産後、呼吸法のリラクセス、当院の分娩
お乳の手入れ、入院中の生活、赤ちゃんについて
施設の見学

担当者：産婦人科医師、小児科医師、助産師

実施予定日：平成28年12月22日（木）、
平成29年1月26日（木）

※緊急手術や分娩、学会出張等によりやむなく変更する場合があります。

事前に日程の確認をしてお越しください。

問い合わせ先：産婦人科





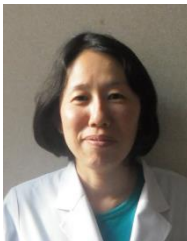
ドクター紹介



主任病院教授
安岐 康晴 (あき やすはる)
 香川県出身
 大分医科大学卒業
専門科・専門分野
 腎臓病、高血圧症、生活習慣病



病院教授
原 大雅 (はら たいが)
 香川県出身
 香川医科大学卒業
専門科・専門分野
 腎臓、透析



病院教授
三村 志麻 (みむら しま)
 香川県出身
 近畿大学医学部卒業
専門科・専門分野
 消化器、肝臓

今回は、病院教授3名をご紹介します。
 1月から耳鼻咽喉科に新しい医師が赴任
 しますので、次号でご紹介します。



※「病院教授」とは、香川大学医学部に設置されている「地域医療再生
 医学講座」に所属する医師のことで、小豆島の医療環境を良くするた
 めに来てくれています。当院には前号でご紹介しました岩藤医師と合
 わせ、4名の病院教授がいます。

《 お 知 ら せ 》

◎休診について

内海診療所 12月28日(水)
 土庄診療所 1月4日(水)

◎代診について

整形外科 12月28日(水) 畠村医師 → 中澤医師代診

◎診察日等の変更について

- ・耳鼻咽喉科は、平成29年1月から木曜日午前を休診とし、水曜日午前を診察日(1月4日は休診)といたします。
- ・脳神経外科は、平成29年1月から第1水曜日も初診外来を行います。

◆年末年始(12月29日~1月3日)は、休診いたします。「薬が足りない」など、必要な場合は
 早めに受診をしましょう。



簡単レシピ

白和え

臨床栄養科おすすめ



材料(2人分)

木綿豆腐 : 120g
 白みそ : 20g
 砂糖 : 小さじ1
 みりん : 小さじ1
 ほうれん草 : 80g(ざく切り)
 にんじん : 40g(短冊)
 しらたき : 60g(3cm)
 しょうゆ : 小さじ2
 砂糖 : 小さじ1

作り方

- ① 木綿豆腐を下茹でし、裏ごしする。
- ② しらたきを下茹でし、人参と一緒にしょうゆと砂糖で煮る。
- ③ ①に調味料を加え、②とほうれん草を和える。

1人分
 エネルギー : 105kcal
 カルシウム : 127mg



カルシウムは乳製品や小魚だけではなく、大豆製品や緑葉野菜にも含まれています。魚や干し椎茸に豊富なビタミンDと一緒に摂るなどの組み合わせも考えて、毎日の食事に取り入れてはいかがでしょうか。



◆編集後記◆

あつという間に年末を迎えました。開院して9ヶ月、皆さまには混乱とご不便ばかりだったのではないかと思います。信頼される病院となるよう、職員一同さらに頑張ってまいります。寒さが一段と厳しくなってきました。体調には十分お気を付けいただき、どうぞ良いお年をお迎えください。

編集担当



【問い合わせ先】

小豆島中央病院 ☎75-1121
 土庄診療所 ☎62-1212
 内海診療所 ☎82-2123

